

運営戦略

1

スタッフ・利用者がその気になる
自立型介護施設のつくり方セミナー

参加費
8,000円
(税・資料代込み)

横浜 2018.4.28(土) 10:00~15:30 ウィング横浜 京浜急行/横浜市営地下鉄「上大岡」直結	福岡 2018.5.12(土) 10:00~15:30 パピヨン24 地下鉄「千代田」4番出口直結	大阪 2018.6.16(土) 10:00~15:30 天満ガーデン貸会議室 地下鉄南河内線・谷町線「南河内駅」3番出口より徒歩3分	講師 知野 吉和氏 (介護人材育成アドバイザー) 山下 総司氏 (社会福祉法人ひだまり 理事)
---	--	---	---

やる気のなさを嘆かず現状を打破する！スタッフ・ご利用者が元気になるための条件とは！？

- ・現場に潜むスタッフのモチベーションを低下させる3つの問題
- ・「仕組み」「人間関係」「個人スキル」が複雑に絡み合う構造の理解
- ・事例から現状の「仕組み」を改善するヒントをみつける
(ルールを作る、ハードを見直す、書式を見直す、人事考課、評価制度を見直す etc)
- ・事例から現状の「人間関係」を改善するヒントをみつける
(雰囲気の良い職場は人間関係の良い職場！コミュニケーションを改善する)
- ・事例から現状の「個人スキル」を改善するヒントをみつける
(どのように人は変化していくのか法則を知る！自分自身のスキルの課題が分かる！)
- ・他者理解が深まるスキルマトリクス

- ・やる気のなさをなげかなくてすむ組織論とチームワーク論
- ・利用者のことでも、なんでも自分事として捉えたらもっと真剣になれる
- ・利用者スタッフの主体性を引き出す環境づくり
- ・環境を生かした自立支援のプログラムづくりの工夫
- ・お互いが気持ちよく過ごせる環境づくりとは
- ・スタッフが集まる仕組みと環境づくり
- ・地域とつながるための環境づくりと取り組み実践
- ・スタッフが自ら率先してしたくなる広報の手順とは

2

2018年同時改定からのリハビリ大改革セミナー

参加費
15,000円
(税・資料代込み)

大阪 2018.6.22(金) 10:30~16:15 天満ガーデン貸会議室 地下鉄南河内線・谷町線「南河内駅」3番出口より徒歩3分	東京 2018.8.3(金) 10:30~16:15 国際ファッションセンター JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩6分	福岡 2018.9.9(日) 10:30~16:15 現在調整中	講師 三好 貴之氏 (株式会社メディックプランニング 代表取締役) 森田 裕治氏 (社会医療法人社団昭和会 経営管理部/リハビリテーション部 部長) 細川 寛将氏 (医療法人財団明会在宅福祉ケア住宅まごころの社 施設長/作業療法士)
---	--	--	---

医療介護連携強化！病棟から通所・訪問へ、そして地域へ！

- ・同時改定後のリハビリテーション部門による医療介護の連携のポイント
- ・介護老人保健施設における強化型・加算型算定と高稼働率の具体策
- ・1-2時間の短時間通所リハは要支援のみでも高収益シミュレーション
- ・通所リハは「生活期リハビリティマネジメント施設」へシフト！
- ・リハマネ加算Ⅰ～Ⅳを算定するためのポイント
- ・通所介護でのリハビリテーションは自立支援・重症化防止の強化！
- ・報酬単価減、サービス提供時間区分に影響されない！短時間デイ運営モデル
- ・地域包括ケアシステム構築におけるリハビリ職の連携の在り方と具体的実践

- ・リハビリテーション専門職の“本来の強み”
- ・多職種協働におけるリハビリ職と多職種との連携強化
- ・地域域住民とリハビリ専門職がどのように連携していくのか？
- ・行政や社会資源とリハビリ専門職の連携の具体例
- ・保険制度に捉われず広く社会に貢献するリハビリテーション
- ・リハビリテーションは「方法論」ではない！概念としてとらえることによる可能性
- ・「リハビリ難民」を生む要因！保険内リハビリテーションにおける現在地と課題
- ・資格や制度に縛られず「広く社会に貢献するリハビリテーション」の実践モデル

3

質の高いリハビリテーションを提供するための
運営管理とリーダーシップセミナー

参加費
15,000円
(税・資料代込み)

東京 2018.7.22(日) 10:00~15:30 リッチモンドホテルプレミア東京押上 「押上駅」B3 出口より徒歩1分	大阪 2018.7.29(日) 10:00~15:30 天満ガーデン貸会議室 地下鉄南河内線・谷町線「南河内駅」3番出口より徒歩3分	名古屋 2018.9.2(日) 10:00~15:30 ウイंकあいち JR「名古屋駅」桜通口から2~5分	講師 高木 綾一氏 (株式会社 Work Shift 代表取締役)
---	---	--	--

効果の出せる質の高いリハビリテーションを提供するためにセラピストがすべき事

- ・2018年同時改定はあなたの組織が結果を出せるか、出せないかの分岐点
- ・リハビリテーション関連の診療報酬・介護報酬の増収マネジメント
- ・マネジメントにおける単価アップの具体策 (収益を高める工夫と効果を高める工夫)
- ・患者・利用者の満足度を高めるマネジメント
- ・満足度を高めるための工夫
- ・多職種連携のマネジメント
- ・他職種の信頼を得るための工夫
- ・包括的リハビリテーションのマネジメント

- ・早期からのリハビリテーションに介入するための医療連携
- ・人材育成のマネジメント
- ・質の高いリハビリテーションを提供するための多職種連携システム
- ・多様な状態に応じたリハビリテーション
- ・学んだ知識をどのように臨床の評価や治療に活かすことができるか
- ・セラピストのキャリアマネジメント
- ・セラピストの働き方改革

実践力養成

4

PT・OT・ST・Nsのための
アセスメント・コーチング能力向上セミナー


参加費
12,000円
(税・資料代込み)

大阪 2018.6.17(日) 10:00~15:30 マイドームおおさか 地下鉄中央線「東淀川駅」1番出口から徒歩6分	東京 2018.7.21(土) 10:00~15:30 国際ファッションセンター JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩6分	福岡 2018.9.30(日) 10:00~15:30 現在調整中	講師 鯨岡 栄一郎氏 (株式会社メディケアソリューション 代表取締役)
---	---	---	--

ご利用者・患者が本当にしたいこと・必要なことを導き出し実現していくためのポイント

- ・ご利用者の計画書づくり、トレーニングで効果が出せるアセスメント・コーチング
- ・信頼関係づくりの極意、真のニーズや思いを引き出す質問のスキル
- ・学校では教えてくれない対象者の残存能力の引き出し方
- ・相手の思考の特徴とは？コミュニケーションタイプ、思い込みに気づき、変換する技術
- ・もっとご自分でできる！ADLの自信を高める手法
- ・相手に元気になっていただき、動機づけるためには

- ・ご利用者の課題解決にあたって多職種で円滑に協働するために必要なこと
- ・相手を安心させ、また新たな視点を提供する伝え方、提案の技術
- ・より効果的に伝える！
- ・【実践】評価の仕方と工夫
- ・2人組でのワーク、エクササイズ
- ・1日を通して学んだことの整理 ほか



5

PT・OT・ST・Nsのための
デイで効果を上げるためのリハ・プログラムセミナー

参加費
12,000円
(税・資料代込み)

福岡 2018.5.13(日) 10:00~15:30 博多バスターミナル JR博多線「博多駅」から徒歩1分	大阪 2018.5.26(土) 10:00~15:30 天満ガーデン貸会議室 地下鉄南河内線・谷町線「南河内駅」3番出口より徒歩3分	東京 2018.8.18(土) 10:00~15:30 国際ファッションセンター JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩6分	講師 小幡 匡史氏 (合同会社 Think Body Japan 代表社員)
---	---	---	---

運動学と老年医学を踏まえた効果的アプローチ

- ・ご利用者が改善を実感できるリハビリテーションとは
- ・効果的なりハビリテーションを提供することが困難な場合とは
- ・集団活動が適応ではないご利用者へのアプローチ
- ・効果を出すための正しいアセスメントと正しいトレーニングの提示
- ・ケアマネ、本人、家族へ説明すべき「資料」
- ・やる気アップにつながる即時効果が出る運動プログラムの紹介
- ・機能訓練、リハ担当以外も目標が分かり、自分の役割が明確になるフローチャート
- ・ご利用者の奥に潜む課題の本質を理解する

- ・マズローの欲求5段階説を応用した心身の評価方法とその活用方法
- ・ご自宅でも継続的に自主トレーニングができる運動方法
- ・痛みの部位別・タイプ別運動方法
- ・これは使える！老年医学に基づいたプログラム作成の工夫
- ・運動学と老年医学を踏まえた効果的リハビリテーションアプローチ
- ・通所サービスの特徴と心身機能の評価

6

PT・OT・ST・Ns・介護職が知っておきたい
摂食・嚥下障害で効果を出せる知識と技術セミナー

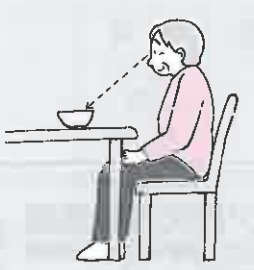
参加費
12,000円
(税・資料代込み)

大阪 2018.6.23(土) 10:00~15:30 大阪コロナホテル JR「新大阪駅」東口より徒歩2分	名古屋 2018.9.1(土) 10:00~15:30 ウイंकあいち JR「名古屋駅」桜通口から2~5分	東京 2018.12.8(土) 10:00~15:30 現在調整中	講師 森 憲一氏 (大阪厚生病院 リハビリテーションセンター 技師長)
--	--	---	--

マニュアル通りの訓練からの卒業！摂食・嚥下障害に関わる知識を実践に生かせる技術

- ・頭頸部の特徴について
- ・機能解剖について
- ・運動学について
- ・筋収縮の生理学について
- ・神経機構とその障害について
- ・姿勢と嚥下の関係について
- ・くびの角度と嚥下
- ・誤嚥防止機構と姿勢

- ・ポジショニング
- ・治療的誘導と介入
- ・筋の形態と徒手治療手技
- ・家族を含めた誰でも実践できる安全で即時効果が期待できるテクニック



講師陣の紹介

<p>実践できる環境・体制を整える 自立型介護施設のづくり方</p> <p>山下 総司氏 社会福祉法人ひだまり 理事 奈良県内の高齢者施設などで、介護職員・生活相談員・管理者として約8年間勤務した後、施設環境アドバイザーとして独立。現在は、医療法人の介護部門統括責任者として勤務する傍ら、理事を務める社会福祉法人にて我が事丸ごとの地域づくりに携わっている。</p>	<p>実践できる環境・体制を整える 自立型介護施設のづくり方</p> <p>知野 吉和氏 介護人材育成アドバイザー 介護系の専門学校に入学し介護実習を機に、介護施設への就職を決める。介護業界全体の課題は、教育で解決するしかないという認識を確立。やる気なくなる職員へのモチベーションを代弁しつつ、日々取り組んでいる。答えは現場にあるがモットーの介護人材コンサルタント。</p>	<p>制度改正・報酬改定などの環境の変化に 同時改定からのリハビリ大改革</p> <p>三好 貴之氏 株式会社メディックプランニング 代表取締役 自ら「活動」と「参加」に力をいれたリハビリ特化型デイを運営する傍ら、リハビリ病院・介護施設におけるリハビリテーション機能強化による経営戦略を専門に全国多数の病院・介護施設のコンサルティングを実施している。</p>
<p>制度改正・報酬改定などの環境の変化に 同時改定からのリハビリ大改革</p> <p>森田 裕治氏 社会医療法人沼南会 リハビリテーション部 副部長 九歳学園川崎リハビリテーション学院卒業後、現法人へ就職。法人内の病院、老健、通所、訪問などを経験。近年は、通所、高齢者介護施設、地域密着型特養などの立ち上げに関わる。組織運営・キャリア支援・リハビリテーションを通じた地域・行政等との連携・関係構築・開業などに取り組んでいる。</p>	<p>制度改正・報酬改定などの環境の変化に 同時改定からのリハビリ大改革</p> <p>細川 寛将氏 医療法人曜明会 在宅ケアと在宅介護の推進。施設長として病院勤務時代より「医療費削減」「保険内」にとらわれない専門性を活かしてレジャーワークとして活動。これからの医療・介護の働き方一つとして「在宅ケア」を実現・推進している。現在は、医療法人曜明会グループ（名古屋）で経営企画、在宅ケア（名古屋）施設長を務める。株式会社クワイエータス（金沢市）にて訪問支援事業・メディア事業、その他 NPO 法人や一般社団法人の役員、ヘルスケアベンチャー企業での支援に携わっている。</p>	<p>制度改正・報酬改定などの環境の変化に 同時改定からのリハビリ大改革</p> <p>高木 綾一氏 株式会社 Work Shift 代表取締役 2000年当初の大阪府内に在る大手医療法人にて、理学療法士としてリハビリテーションに携わることから、リハビリテーションのマネジメント、施設運営、経営、人事、管理に携わるマネジメントへ進出。リハビリテーションの現場から、マネジメントへ進出。2014年に独立して設立した、現在は介護施設でのコンサルティング、ヘルスケアシステム支援、創業支援、キャリアアップマネジメントに関するセミナー開発に専念中。</p>
<p>目標試行的アプローチの実践 効果を上げるリハ・プログラム</p> <p>鯨岡 栄一郎氏 株式会社メディケアソリューション 代表取締役 医療介護リハビリ業界における、コーチング分野のバイブル。最近では、個人の支援、セミナー講師だけでなく、組織活性化として、老練施設のコンサルティングや、病院の新設企画なども手がけている。その手法は、実践的で、スタッフの行動が変わる！との定評がある。「月刊介護保険」の連載など、コミュニケーションに関する執筆も多数（ウェブサイト、ポスターにも掲載）。また、介護施設での現場で使える「コミュニケーション術」実践講座は好評で、講演でも活用され、今春には新刊、秋には改訂版の出版も進んでいる。</p>	<p>目標試行的アプローチの実践 効果を上げるリハ・プログラム</p> <p>小幡 匡史氏 合同会社 Think Body Japan 代表社員 大学卒業後、理学療法士として大学病院に勤務を経て転業。合同会社 Think Body Japan を設立。訪問看護、リハビリテーション事業、地域支援事業、医療コンサルタント事業などを行う。全国を走り回り、リハビリテーションを考える会理事などを務める。</p>	<p>低栄養を防いでリハビリテーションの効果を出す 摂食・嚥下障害の方へのアプローチ</p> <p>森 憲一氏 大阪厚生病院 リハビリテーションセンター 技師長 PT 免許取得後、兵庫県を経て現法人へ入社。平成 25 年に同技師長及び神戸大学准教授に就任。PT・OT・ST などの大学及び養成校 14 校 20 学科の授業を担当。4 種の認定理学療法士資格を取得し、これまで（公社）全国理学療法士協会及び（公社）大阪府理学療法士会主催講習会にて教育に就事。</p>

お申し込み方法と注意事項

- 各セミナーの当日の内容は変更となる場合がございますことをあらかじめご了承ください。
- 多くの施設の方と交流が図れるよい機会となりますので、名刺をご持参されることをおすすめいたします。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- 講演中のパソコン・タブレット・スマートフォンなどでの録音・メモなどはご遠慮ください。

詳しい情報は公式ホームページにてご確認ください **1日で学ぶスキルアップ講座**

運営戦略・実務力養成スキルアップ講座 お申し込み書 FAX 084-948-0641

ご希望の講座に○を付けてください

1 自立型介護施設のづくり方	4/28 横浜	5/12 福岡	6/16 大阪
2 同時改定からのリハビリ大改革	6/22 東京	8/3 東京	9/9 福岡
3 質の高いリハビリ部門の運営管理	7/22 東京	7/29 大阪	9/2 名古屋
4 アセスメント・コーチング能力向上	6/17 大阪	7/21 東京	9/30 福岡
5 効果を上げるリハ・プログラム	5/13 福岡	5/26 大阪	8/18 東京
6 摂食・嚥下障害の方へのアプローチ	6/23 大阪	9/1 名古屋	12/8 東京

氏名	TEL
	FAX
住所 (自宅勤務先)	携帯
	メール (必須)
勤務先	職種

※上記個人情報、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシー・ポリシー」に従い適切に管理いたします。

お問合わせ TEL 721-0902 日本通所ケア研究会事務局 TEL 084-971-6686
 広島県福山市春日町浦上 1205 (株) QOL サービス内 共催：NPO 法人日本介護福祉教育研修機構
 ホームページ https://www.tsuusho.com/skill/ メール info@tsuusho.com FAX 084-948-0641

1日で学ぶ **運営戦略・実務力**

スキルアップ講座

この学びで丸わかり! これからの介護・医療分野に必須の内容です!



**実践できる環境・体制を整える
自立型介護施設のづくり方**
スタッフ・ご利用者が元気になるための条件とは

- ・改善方法が分かって、行動できないのはなぜか
- ・現場でよく耳にする「利用者本位」は果たして本当に自立支援なのか
- ・仕組み、関係性、スキルをどう改善していくのか

2018.4.28 横浜 2018.5.12 福岡 2018.6.16 大阪

**医療・介護の連携強化
同時改定からのリハビリ大改革**
病棟→通所・訪問→地域へ

- ・リハビリによる医療介護連携のポイント
- ・多様な社会でリハビリテーションを活かす方法
- ・仕組み、関係性、スキルをどう改善していくのか

2018.6.22 大阪 2018.8.3 東京 2018.9.9 福岡

**制度改正・報酬改定などの環境の変化に
同時改定からのリハビリ大改革**
病棟→通所・訪問→地域へ

- ・リハビリによる医療介護連携のポイント
- ・多様な社会でリハビリテーションを活かす方法
- ・仕組み、関係性、スキルをどう改善していくのか

2018.7.22 東京 2018.7.29 大阪 2018.9.2 名古屋

**能力や特性を発見し具体的に指導ができる
アセスメント・コーチング能力向上**
本来の持っている力を引き出す動機づけ

- ・評価の仕方と伝える力
- ・目標達成に向けた手段の共有
- ・環境設定の工夫

2018.6.17 大阪 2018.7.21 東京 2018.9.30 福岡

**目標試行的アプローチの実践
効果を上げるリハ・プログラム**
リハビリテーション・機能訓練の質を上げる

- ・生活期リハでサービスの質を上げるためのコツ
- ・スタッフが持っている能力を最大限に生かす
- ・疾患や症状などの正しい理解

2018.5.13 福岡 2018.5.26 大阪 2018.8.18 東京

**低栄養を防いでリハビリテーションの効果を出す
摂食・嚥下障害の方へのアプローチ**
機能の維持・向上で重症化予防の仕組みづくり

- ・摂食、嚥下障害は疾患ではなく症状である
- ・アプローチするための条件を整える
- ・美生活を意識したトレーニング

2018.6.23 大阪 2018.9.1 名古屋 2018.12.8 東京

各項目の詳細は中面をご覧ください ▶▶▶